

会 議 録

会議の名称	平成 28 年度 第 3 回 栃木中央地域会議
開催日時	平成 28 年 6 月 23 日（木）18 時 30 分開会～20 時 00 分閉会
開催場所	栃木市役所本庁舎 3 階 正庁
出席者及び欠席者氏名	別記 1 のとおり
事務局職員職氏名	別記 1 のとおり
その他出席者等	なし
会議事項	別記 2 のとおり
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	なし
その他必要事項	なし
会議の経過（議事の要旨）	別記 3 のとおり

別記 1 出席者及び事務局

○出席者（委員）

会 長 佐山 正樹	副会長 石河 不砂
委 員 臼井 義雄	委 員 大浦 兼政
委 員 鬼塚 修	委 員 下田 明範
委 員 杉山 栄	委 員 中尾 秀美
委 員 町田 爽起夫	委 員 村田 弘子
委 員 山口 真右	委 員 渡邊 一浩

○欠席者（委員）

委 員 池添 亮	委 員 大波 龍郷
委 員 木村 隆夫	委 員 鈴木 林彌
委 員 高瀬 淳	委 員 若林 芳明

○事務局

【総合政策部】

大橋 嘉孝（地域づくり推進課長兼栃木中央地域まちづくりセンター所長）

清水 孝之（地域づくり推進課長補佐）

福田 英臣（地域づくり推進課主任）

鈴木 晃子（地域づくり推進課主事）

臼井 崇倫（地域づくり推進課主事）

別記 2 会議事項（議題及び会議結果）

1 開 会

2 会長あいさつ

佐山会長

3 議 事

- (1) 地域課題の解決に向けたアイデアを整理する会議
(提案されたアイデアを整理し、実現可能性を探る。)

4 その他

- (1) 栃木中央地域会議だより第 3 号の発行について
- (2) 次回の地域会議について
 - ・ 次回開催予定 平成 28 年 7 月 28 日（木） 18 時 30 分～
栃木市役所本庁舎 3 階 正庁

5 閉 会

別記 3 会議の経過（議事の要旨）

発言者	議題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 <u>(1) 地域課題の解決に向けたアイデアを整理する会議</u> A 班、B 班に分かれて会議を行う前に、前回までに出たアイデアの中で担当課との協議の結果、事業化が可能なアイデアが 3 つありましたので報告します。 ○スケアードストレート方式による交通安全教室 交通防犯課と協議を行う。今年度に引き続き来年度も 1 校分事業化が可能。 ○栃木城址の周知 文化課と協議を行う。案内看板の設置の他、栃木城址の歴史をまとめたリーフレットを作成し小中学校に配布する形での事業化を検討した。 ○公園の土の入れ替え 資料 1 公園緑地課と協議を行う。栃木中央地域内の公園（資料 1 参照）から複数の公園の土を入れ替える事業を検討した。
	事務局 今回の会議では、前回検討できなかったアイデアの協議、新たなアイデアの提案を行います。新たに提案のあったアイデアは後日担当課と事務局で事業化が可能か協議を行います。 【A 班会議内容】 <u>事業案として固まったのは以下の 3 つ</u> ○栃木城址の調査、市民への周知 ・ 栃木城址について調査を行う。 ・ 市民への周知のため、案内板の設置を検討。 ・ リーフレット等を作成し、地域内の小学校に配布。 ○スケアードストレート方式の交通安全教室 ・ 地域内の安全・安心を促す仕組みとして、継続して事業化する。 ・ 中学校だけでなく、小学校にも対象を広げることを検討。 →小学生には刺激が強すぎるため、中学校を対象とする。 ・ 周知にも費用をつかってはどうか。 ・ 交通安全だけでなく、誘拐等のリスク回避の教室を実施してもよいのでは。 ○栃木中央地域内の公園の花壇の土の入れ替え ・ B 班の提案だが、公園内の樹木や植込み・芝生の整備もお願いしたい。

	<u>その他の事業の検討結果</u> ○蔵の街大通り沿いの整備 ・陽射しの強い時期の観光客のために、蔵の街大通り沿いにパラソル付きのイスの設置を行う。 →大通りの場合、歩道の広さの関係で常設のベンチを設置することは難しい。 ・石のボラートを使った仮設ベンチの設置または、大通り沿いの店と協力し、休日だけ店舗の前に仮設ベンチを設置してもらうようお願いできないか。 ○栃木駅を来訪者の玄関口とするために ・栃木駅に降り立った来訪者が、「蔵の街」「何だか楽しそうだな」「歴史を感じるな」と思うようなおもてなしの玄関を作る。 →今年度より、栃木駅構内に「吾一からくり時計」の整備を開始し、来訪者へのシンボルとしたい。 <u>以下は、フリートークの中での議論</u> ○（仮称）目安箱の設置 ・通勤、通学等で危険箇所（信号機の時間、道路の陥没、側溝の蓋、通学路の生垣のはみ出し）を発見した場合に、簡単に通報できる仕組みがあるとよい。 ・現行のインターネットや郵送ではなく、実際に施設内に箱を置くことを提案する。市民が、学校、自治会、行政のどこに言えばよいかわからない課題を連絡する（市が情報を集約できる）制度をつくる第一歩になれば。 →問題が起きたときの対応の機動力を向上させたい。実働組織の活動がその一助となるかも。 ○高齢者の独居世帯増加への対応 ・今後も増加し続ける独居の高齢者が、最期まで安心して暮らせるまちづくりの事業を検討。 →今年度から「地域支え合い推進条例」が施行される。市（地域包括支援センター）・社会福祉協議会・自治会の３者が連携して高齢者の暮らしを支える施策を展開する。 ○広く道路行政について ・栃木駅から中心部までの大通りに、点字ブロックがないため、設置を依頼したい。 ・街灯のカラーリングを実施してはどうか。 ○子どもが集える施設の整備 ・小山市のように、駅前に大規模なキッズランドを整備し、子どもや親たちが集える拠点を作ってはどうか。 ○市の魅力を戦略的に発信してほしい ・今年度よりシティプロモーション課が新設されたので、もっと戦略的に市の魅力を発信してほしい。
--	--

	・お試しの家が利用開始 →利用者の声を集約し、効果的に発信して、若者世代の移住・定住に貢献できるように。担当課が横の連携を強化するように。 ・市で作ったPR ツール（グッズ・動画など）が必ずしも相手に届いていない。予算を使って専門家に任せるべきところは任せて、メリハリのあるシティプロモーションを展開してほしい。 【B 班会議内容】 <u>事業案として固まったのは以下の 4 つ</u> ○公園花壇の土の入れ替え ・片柳町にあるなかよし公園について、花を植えたいが土が砂利交じりで植えられない。大がかりになるため、入れ替えは個人や老人クラブでは難しい。中央地域にはほかにも公園があるが、どうするかは今後の検討課題。 ○あいさつリーダーバッジの作成と配付 ・最近是不審者対策で児童・生徒に声をかけにくい。あいさつをする人にバッジをつけてもらうことにより、信頼できる人であることを示し、あいさつをしやすい環境をつくる。民生委員や通学路を見守る老人クラブ等への配付が考えられる。また、ただ配付をするだけでなく、広めるための活動・運動をしていく必要がある。 ○あじさいの植栽 ・今年の豪雨災害によりあじさいも被害を受けた。市で既に何本かは植え替えたようだが、植える余地はまだある。中央地域会議として、少しでもあじさいを植えたい。 ○スケアードストレートの継続 ・好評だった事業なので継続したい。刺激が強い、ということだが、小学校で開催してもよいのではないかな。広報をして、地域の方に集まっていただければ、異なる年代の交流の場にもなれるのではないかな。 <u>その他の事業の検討結果</u> ○蔵の街大通り沿いの整備 ・停留所やベンチは費用がかかることと管理の問題がある。 ○栃木城址の調査、市民への周知 ・市内名跡の把握は大がかりなプロジェクトとなる。地域予算提案制度ではなく、時間をかけて行ってほしい。 ○「とちぎ秋まつり」への参加 ・山車を持っていない自治会もまつりに参加してほしい。 →実行委員会や山車持ち町内の中で合意を得る必要がある。
--	--

	○ぬかり沼の管理 ・ぬかり沼の管理は必要だが、維持管理にコストがかかる。 →継続して検討し、行政でできること、自治会でできることを検討する。 <u>提案事業以外の話題としてあがったもの</u> ・防犯活動をするグループの組織化を進めたい。スクールガードリーダーなどは老人クラブや民生委員が務めているが、だれが代表なのか判然としない →実働組織で防犯に特化した部会をつくったらよいのではないか。 ・老人クラブ（シニアクラブ）の高齢化が進んでいる。独居など会話の機会が少ない方が、交流の機会を求めてシニアクラブに入ることが多い。地域での交流の機会が増えれば、そのような方を元気づけられる。また、シニアクラブを引っ張るシニアリーダーの育成や、シニアの中での高齢者の面倒をみられる若いシニアの人材育成が必要。
佐山会長	お疲れさまでした。その他に移ります。
事務局	4 その他 <u>(1) 栃木中央地域会議だより第3号の発行について</u> 開催予定に誤りがあったため、下記のとおり訂正を行う。 第5回（誤）8月26日 →（正）8月25日
事務局	<u>(2) 事務連絡</u> ・次回開催予定 平成28年7月28日（木）18時30分～ - 栃木市役所本庁舎3階 正庁
	5 閉会

資料2